

♥ L'humanite'

ゆまにて

公益社団法人静岡県理学療法士会NEWS



「新年のご挨拶」

公益社団法人 静岡県理学療法士会
副会長 菊池和幸

(公社)静岡県理学療法士会の事務所が
下記に移転します。

静岡県静岡市駿河区南町10番5号
地建南町ビル1階

移転の日 令和7年1月25日

発行

公益社団法人 静岡県理学療法士会
会長 森下 一幸
事務局長 瀧 和人
事務所 〒420-0853 静岡県静岡市葵区
追手町10番203号新中町ビル2階
TEL:054-275-2985 FAX:054-275-2977

編集

広報局ゆまにて編集部
部長 鳥屋 優太
所在地 〒410-2295静岡県伊豆の国市長岡1129
順天堂大学医学部附属静岡病院

会員数:3,697名 638施設
東部:1,244名 中部:1,110名 西部:1,343名
施設会員数:3,487名 自宅会員数:210名

「新年のご挨拶」

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては素晴らしい新年を迎えられていることと御喜び申し上げます。

また、日頃より公益社団法人静岡県理学療法士の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2024年を振り返りますと、1月1日の能登半島地震から始まり、8月の宮崎地震南海トラフ注意報発表と大規模災害対策の重要性を再認識させられる一年でした。明るいニュースでは大谷選手の前人未達の50-50、パリ五輪での日本選手の活躍等海外での日本人の活躍も目立った1年だったと思います。海外で活躍する日本人選手の報道を目にする度に、「自分ももっと出来るはず。まだ自分に甘いな」と反省してばかりです。

話題をかえまして皆様に大切なお知らせです。前回のゆまにて紙面をお借りして静岡県理学療法士の事務所移転に関してご説明させていただきました。現在の新中町ビル事務所は、私が32歳で初めて理事を拝命し10数年通った思い出のある事務所ですので移転は少し寂しい気持ちもしています。しかしながら、大規模災害の対応も考慮し役員で慎重に協議し、事務所移転を決定させていただきました。新事務所は静岡駅新幹線口から徒歩1分～2分とアクセスも抜群で、皆様にとっても有効に活用いただける事務所になると思います。役員・事務員一丸となって準備しておりますのでご期待ください。引っ越しは1月25日、事務所の正式な稼働は1月27日です。

最後に、今年は当会の役員改選があります。熱意のある方は是非立候補いただき静岡県理学療法士の未来を一緒に作っていきましょう。皆様のお力添えを何卒宜しくお願い致します。本年が皆様にとって素晴らしい1年になりますことお祈り申し上げまして私の新年の挨拶とさせていただきます。



副会長 **菊池 和幸**

県士会事務所移転進捗状況報告

会員の皆様、日頃から県士会事業へご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

ゆまにて 207 号(11 月発行)にてご報告させていただきました、事務所移転に関しての進捗状況をご報告させていただきます。

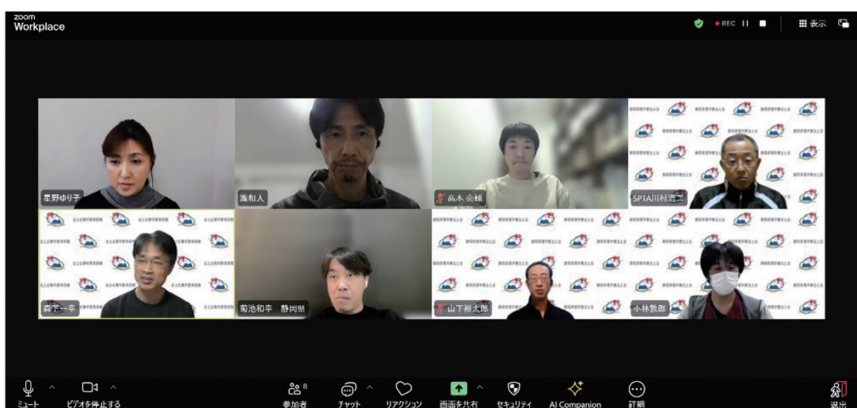
賃貸契約も無事に終わり、事務所内の内装工事も始まりました。事務所購入検討委員会でも引き続き事務什器・備品の選定作業を進めております。誰もが立ち寄りやすい明るくきれいな事務所となるように進めております！今後の進捗状況についても随時ご報告させていただきます。



*内装工事前



*内装工事中



*事務所購入検討委員会

- ◆ 移転日:令和 7 年 1 月 25 日
- ◆ 移転先:静岡県静岡市駿河区南町 10 番 5 号 地建南町ビル1階

第28回静岡県理学療法学会大会

理学療法の 温故知新

開催日：2025年6月22日（日）

会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

大会長：俵 祐一（聖隷クリストファー大学）

副大会長：春藤 健支（聖隷浜松病院）

準備委員長：松下 太一（北斗わかば病院）

演題・査読者・座長・運営委員募集に関して



たくさんのご応募ありがとうございました
予想を超える応募があり、
スタッフ一同嬉しい悲鳴を上げております



大会企画紹介

■ 大会長特別企画

大会長特別講話

俵祐一 大会長
(聖隷クリストファー大学)

大会基調講演「理学療法の温故知新」

千住秀明 先生
(びわこリハビリテーション専門職大学)

教育講演

「人生100年時代における理学療法士のキャリアデザイン」

高木綾一 先生（株式会社work shift）

ワークショップ（フロア参加型）

「若手とベテランとの対話」

運動器：桐山卓真 先生（富士整形外科病院）

神経系：亀山裕斗 先生（浜松市リハビリテーション病院）

内部障害：梶山敬祐 先生（静岡済生会総合病院）

専門部会セミナー

運動器「明日から使える臨床検査×理学療法
—画像や生理検査から治療を考える—（仮）」

大沼賢洋 先生（富士リハビリテーション大学校 専任教員）

神経系「明日から使える臨床検査×理学療法
—脳画像から予後予測する—（仮）」

山内信吾 先生（沼津リハビリテーション病院）

内部障害「どこでも使えるフィジカルアセスメント
—リスク回避と治療の促進—（仮）」

幸坂真宏 先生（富士宮市立病院）

ほかにも、大会テーマに沿った、より質の高い演題を集めた“主題演題セッション”があります。また学会初の試みとして、教育講演の内容を基とした“フロア参加型のワークショップ”を開催。普段抱えている悩みも、ここに来れば解決のヒントが見つかるはずです！

参加登録は2025年4月開始。皆様のご参加お待ちしております！！



HP 随時更新中



2025年1月9日

会員各位

公益社団法人 静岡県理学療法士会
選挙管理委員長 岩井唯紘

役員選挙告示

公益社団法人静岡県理学療法士会役員の任期満了に伴い定款、選挙細則の規定に基づき次の通り投票による役員選挙を行います。

記

1. 選挙すべき役員名と定数
 - 1) 理事 13名以上16名以内
 - 2) 監事 2名以上3名以内
2. 選挙権と被選挙権
 - 1) 2025年1月9日現在の県士会会員を基準に作成される名簿に登録されている者に選挙権、被選挙権があります。
3. 立候補受付
 - 1) 立候補受付期間は2025年1月9日(木)～2月7日(金)正午必着までとします。
 - 2) 立候補受付期間後の届け出は一切受け付けません。また、所定の様式を満たしていない場合の届け出は無効とします。
4. 選挙方法
Web選挙システムによる投票選挙
5. 投票期間
2025年3月10日(月)～3月21日(金)
6. 立候補届の様式
 - 1) 立候補者本人による立候補の場合は、「様式第1号」に基づき作成すること。
 - 2) 推薦による立候補の場合は「様式第2号」に基づき作成すること。
 - 3) 「様式第1号」「様式第2号」ともA4版の大きさとし、届出者は立候補者とする。
7. 添付書類
立候補届には次の書類を添付すること。
 - 1) 個人調書
所定の書式を利用し、記載すること。
8. 立候補届、添付書類の提出
 - 1) 立候補届
メール添付で送ること。メールの題名を「2025年静岡県理学療法士会役員選挙 立候補届について」とする。(立候補辞退届も同様)
メールアドレス: iwai@suzuki.ac.jp
選挙管理委員長 岩井唯紘 宛
 - 2) 添付書類(個人調書)
以下の宛先へ郵送すること。
〒422-8006
静岡市駿河区曲金6丁目7-15
専門学校中央医療健康大学校 理学療法学科 岩井 唯紘 宛

以上

Proud NUMAZU CUP フェンシング選手権 2024～サーブルランキングマッチ～

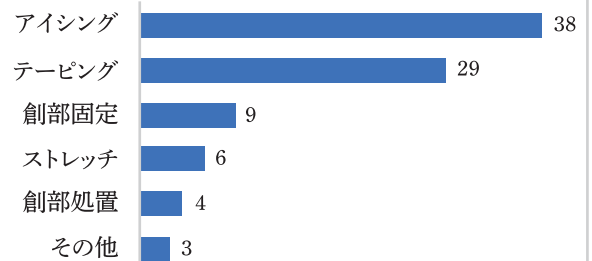
小宮山 正広1) 2) 清水 美晴2) 縄田 琴美2) 栗田 泰成2) 山下 浩史2) 松本 武士2) 小林 敦郎1) 2)

1)順天堂大学医学部附属静岡病院 2)予防局メディカルサポート部

令和6年11月23(土)～24日(日)の2日間、沼津市総合体育館にて一般社団法人 沼津フェンシング協会主催の「Proud NUMAZU CUPフェンシング選手権2024 サーブルランキングマッチ&沼津北ロータリークラブカップ」が開催されました。会場内にメディカルサポートブースを設置し、各日、理学療法士2名にて試合中・試合前後の選手の急性外傷や慢性障害に対して創部処置やアイシング、テーピング、ストレッチ等を実施しました。フェンシング競技のサーブル種目は剣が最も小型であり、他のフルレ・エペと異なり「斬り」「突き」の2種類の攻撃パターンがあること、有効面積が両腕と頭部を含む上半身であることからダイナミックな斬りの攻撃とそれを躲す巧みなステップワークが要求される競技特性のある種目です。

今大会ではミニム・カデ・ジュニア・シニアの幅広い年代の選手が試合をしており、試合中の処置ではシニア世代になると打撲や裂傷などへの対応が多く、ミニム世代となると足関節捻挫などの急性外傷が多い印象を受けました。また、全日本選手権に比べ、今大会では試合前のテーピング依頼が多くありました。これは、当会の活動が少しずつ選手や関係者の間で知られてきた証拠だと考えており、メディカルサポートの必要性が高いことも実感しました。以前から今回の活動を通して、多くの選手がウォーミングアップやクーリングダウンを十分に行っていないこと、また試合間の過ごし方においてもコンディショニングが不足していることを痛感しました。フェンシングは個人競技であるため、選手の自己管理に委ねられる部分が大きいです。これらの課題は、外傷・障害のリスク増加やパフォーマンス低下に直結する可能性があります。理学療法士として、選手のパフォーマンス向上のためには、これらの問題点をどのように解決していくべきか、今後の活動において深く検討していく必要があると感じました。

処置内容と件数



活動の様子



活動の様子



試合の様子



最後に、今回の事業に携わる貴重な機会を与えて頂きました一般社団法人 沼津フェンシング協会および大会運営関係者の皆様方に、厚く御礼申し上げます。

「骨盤底の理学療法」研修会

森梢 1) 2) 菊地麻友美 1) 永峯江里加 1) 松本武士 1) 小林敦郎 1)

1) 予防局健康増進部 2) 専門学校富士リハビリテーション大学校

予防局健康増進部では、2024年11月9日(土)に「骨盤底の理学療法」研修会を開催いたしましたので、ご報告いたします。

当部では、2015年度より県民の皆さまを対象とした「産後の骨盤ケア教室」を継続的に実施しております。また、2022年度より富士宮市の「骨盤底トレーニング教室」を担当するなど、ウィメンズヘルス分野における予防活動に積極的に取り組んでおります。これまでは「産後の理学療法」を中心とした内容で研修会を開催してまいりましたが、今回は「産後」のみならず「骨盤底機能障害」も視野に入れ、「骨盤底の理学療法」について幅広く講義を行わせていただきました。

当日は、理学療法士19名、作業療法士2名、保健師3名、助産師1名の計25名の方々にご参加いただきました。また、小さなお子様連れの育児中の方々にも参加していただけるよう、簡易的ではございますがキッズスペースを設けるなど、幅広い層に配慮した運営を心掛けました。

第一部では骨盤底に関連する機能解剖、妊娠・出産に伴う身体の変化とその影響について講義し、第二部では骨盤底の評価方法、骨盤底筋の触診の実技を中心に、新たに超音波エコーを用いた評価および指導方法も取り入れました。参加者からは「骨盤底筋の収縮がわかりやすかった」などのお声をいただきました。

また、少人数制の利点を活かし、実技中には活発な質問や意見交換が行われ、終始和やかな雰囲気の中で研修を進めることができました。研修会終了後も多くの方から質問をいただき、ウィメンズヘルス理学療法への高い関心が感じられました。

今回、講師を務めさせていただいたことで、日々の活動や臨床を改めて見つめ直す機会となり、ウィメンズヘルス理学療法に対する知識をさらに深めることができました。このような貴重な機会をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

今後も県民向けの活動を通し、医学的情報をわかりやすくお伝えしながら、ウィメンズヘルス理学療法の普及や啓発に努めて参りたいと考えております。なお、次年度も当分野の理学療法に関心を寄せていただける県士会員を増やすべく、研修会の充実を図って参ります。関心をお持ちの皆さまには、ぜひ健康増進部の活動にご参加いただき、ご協力をいただきましたら幸いです。

最後になりましたが、本研修会の開催にあたりご協力いただきました関係者の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

研修風景



健康増進部では、県民の皆様を対象とした「産後の骨盤ケア教室」「骨盤底筋体操教室」開催にご協力いただけるスタッフを募集しております。ご興味のある方・ご協力頂ける方は、kenkou@shizuoka-pt.com (菊地) までご連絡をお願い致します。

高校野球部門

第77回秋季東海地区高等学校野球静岡大会

堀尾大輝1)2) 長尾将聖2) 小田心太郎2)

湖山リハビリテーション病院1) 予防局メディカルサポート部2)

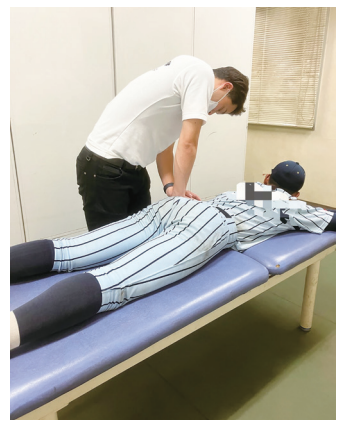
令和6年9月14日(土)～9月29日(日)の7日間にわたり、県内7球場にて「第77回秋季東海地区高等学校野球選手権静岡大会」が開催され、1回戦から各球場に2～3名のスタッフを配置し、サポート活動を行いました。今大会には、7月に開催された「第106回全国高等学校野球選手権静岡大会」に参加したスタッフも多く加わり、これまでのサポート経験を活かして、投手のクーリングダウンやテーピング対応、熱中症および頭頸部外傷への対応を行ったほか、熱中症に対する事前警戒も徹底しました。

本大会の参加スタッフ及び総処置件数

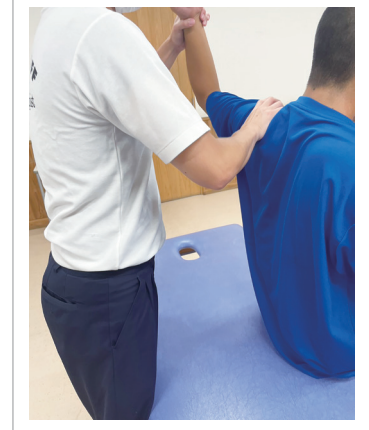
<総処置件数> **60件**

投手クーリングダウン	40件
・テーピング	7件
・アイシング	5件
・創部処置	1件
・ストレッチ	4件
・水分補給	3件

気温測定器など



気温測定器など



今大会では、各球場においてサポートスタッフや球場役員の方々との連携を円滑に行うことができ、緊急時を含む対応も迅速に行えました。また、大会期間中は気温・湿度ともに高い状況が続きましたが、熱中症に関しては試合開始前の注意喚起や夏の大会経験をもつスタッフの参加によって、迅速な対応が可能となり、アクシデントを最小限に抑えることができました。近年、トレーナーが帯同している学校も増え、傷害予防への認識が高まっていると感じました。これに伴い、理学療法士として選手に関わる上でも、知識・技術の向上、そのための自己研鑽がより一層重要であると再認識しました。

最後に今回のメディカルサポート活動の機会を与えていただきました一般財団法人静岡県高等学校野球連盟・朝日新聞社並びに大会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

第18回JIMTEF災害医療研修アドバンスコース

参加報告

浜松医療センター 宮澤佑治

2024年11月3日（日）～11月4日（月）に公益財団法人国際医療技術財団(JIMTEF)主催、災害医療に関する知識と技術を有する関係者を育成するアドバンスコースに参加する機会をいただきましたので、以下に報告します。

【研修内容の概要】

研修は参加者がグループに分かれ、講義を聴講した後、避難所運営ゲーム（以下HUG）や災害食の調理・試食、本部運営実習をディスカッション形式で学びを深めるという構成でした。まず驚いたのは、参加者の職種や所属地域の多様さです。災害支援にはさまざまな職能団体が関与しますが、普段協働していない柔道整復師や鍼灸師が現場でどのような背景を持ち、どのように活動しているかについて理解が不足していることに気づかされました。

また、同じグループには心理士の方も参加しており、公認心理士や臨床心理士といった資格ごとに派遣団体や活動範囲が異なることを知りました。初対面のスタッフ同士で迅速に意思疎通を図り、それぞれの得意分野を生かして共同作業を行う難しさを痛感しました。平時から研修会などを通じて他職種とのコミュニケーションを深める機会を持つことの重要性を改めて感じました。

【支援に行く準備】

災害支援に出向くには、職場の協力が欠かせません。勤務の調整や、被災地での活動拠点や宿泊先の確保が必要です。被災地に近い拠点を構えることで活動効率を高められますが、余震や二次的災害に巻き込まれるリスクや休息不足といったデメリットもあります。一方、拠点が遠い場合は、不慣れた道路を運転する負担が増えることもあります。これらの条件を考慮し、確実な正解はない中で無理なく支援できる条件を整える事が大事であることがわかりました。

【HUGと本部運営訓練】

机上演習としてHUGと本部運営訓練を行い、過去の災害で報告されている「受援体制」の難しさを体感しました。コーディネーターの先生方のリアルな演技により、現場の混乱が再現される中で、速やかに役割分担し、同時進行する課題に対応する難しさを経験しました。

体育館に被災者や支援物資をどのように配置するか？その際の導線は確保できているか？犬を連れて非難したい人をどう扱うか？リーダーが支援者対応をしている間にマスコミの取材依頼が来た時に「邪魔だからか追い返す」か「上手に対応して必要な物資や注意事項の情報を拡散してもらうか」で考え方が違うことなども理解できました。また、避難所アセスメントシートを使うことでもれなく継続的に簡潔に情報収集できることがわかりました。

【終わりに】

私はこれまで、2011年の東日本大震災や2024年の能登半島地震での災害支援に参加してきましたが、JRATがなかった時代と比べ、現在の支援体制が大きく進化していることを実感しました。この強固になった体制を生かすためには制度やルールを知る必要があり、他職種の強みと自分の強みを生かして、目の前のことを大事にする「虫の目」、現場の流れを感じ取る「魚の目」、地域全体を俯瞰する「鳥の目」を駆使して多角的に支援の糸口を見つける重要性を改めて理解できました。今回の研修で得た学びを、災害支援活動への取り組みに生かしていきたいと思います。このような貴重な機会をいただいた日本理学療法士協会、静岡県理学療法士会、そしてご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



1.「災害リハ支援者養成研修会」

2024/7/27(土)開催

《午前の部》 令和6年能登半島地震後の災害リハ支援活動報告

静岡JRAT派遣チームに参加した医師・PT・OT・STからの報告と意見交換

*PTの報告者として、宮澤佑治氏(浜松医療センター)、和泉POS協議会会長

《午後の部》 災害リハビリテーション基礎研修

講義「災害リハビリテーションと地域リハビリテーション」「災害リハビリテーションの実際」

演習(机上でのワークを少人数に分かれて実施)

*昨年度開催の第12回静岡災害リハビリテーション研修会で行った

「災害リハビリテーション基礎研修」(研修プログラム作成:熊本JRAT事務局佐藤亮先生)と同じ内容を、

高柳災害対策委員が講師として進行

参加者数: PT18/OT7/ST2名(講師・スタッフ・静岡JRAT役員PT9/OT7/ST4/Dr2名)

研修会の様子



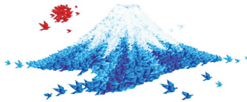
2.「第13回静岡災害リハビリテーション研修会」

2024/12/7(土)開催

災害時のより良い連携を目指して

第13回 静岡災害リハビリテーション研修会

日時: 2024年12月7日(土) 10時00分~17時00分
会場: レイアップ静岡ビル5-FD会議室 (JR静岡駅北口徒歩3分)



10時	開会
10時10分~12時	シンポジウム: 支援について学ぶ —令和6年能登半島地震後の石川県3士会の活動から— 講師(講演者): 石川県からリモートで参加下さい 公益社団法人石川県作業療法士会 永田寛 副会長 公益社団法人石川県理学療法士会 北谷正浩 会長 公益社団法人石川県言語聴覚士会 金沢一恵 災害リハWG理事
13時~16時55分	講義「令和2年7月豪雨における熊本JRATの活動の実際」 演習 REHSUG (大規模災害リハビリテーション支援チーム本部立ち上げゲーム) DREAG (大規模災害リハビリテーション支援ゲーム) 講師 熊本JRAT 佐藤亮 事務局次長
17時	閉会

《午前の部》

石川県3士会の方々にリモートでご登壇頂き、発災時の受援についてのシンポジウム

《午後の部》

熊本JRATの佐藤亮先生に令和2年熊本豪雨時、コロナ禍での活動についての講義、また対面方式でREHSUG(大規模災害リハビリテーション支援チーム本部立ち上げゲーム)とDREAG(大規模災害リハビリテーション支援ゲーム)の演習をご指導頂きました。

参加者数: PT11名(OT8/ST1)、講師・座長・スタッフ等

関係者としてPT7名(OT8/ST5/Dr4)

研修会の様子



本研修会のシンポジウムに関しては、YouTubeチャンネル「静岡JRAT」にて、ご覧いただくことができます。

過去の研修会についてもどうぞご覧ください。



神経系理学療法専門部会

令和6年度 神経系理学療法専門部会 第2回症例検討会

開催報告

田中幸平¹⁾ 山内信吾¹⁾ 天野浩也¹⁾

¹⁾ 静岡県理学療法士会 神経系理学療法専門部会

令和6年11月15日(金)にオンラインで神経系理学療法の分野における症例検討会を行いました。

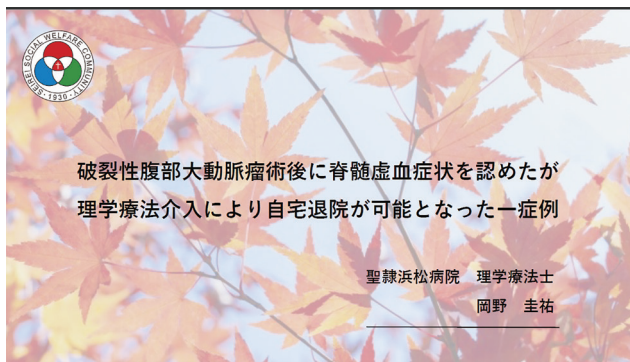
症例検討①では、「破裂性腹部大動脈瘤術後に脊髄虚血症状を認めたが理学療法介入により自宅退院が可能となった一症例」、症例検討②では、「聴神経腫瘍術後に小脳出血を合併した一症例 ～歩行安定性獲得を目指した骨盤底筋賦活による介入～」というタイトルで、それぞれ症例紹介をしていただきました。症例発表後に質疑応答、グループディスカッションを行いました。症例検討①では、急性期リハビリの予後予測や介入について検討し、回復期や生活期からの視点での意見交換もできました。症例検討②では、リハビリの介入で難渋する失調症状に対して、歩行の評価・介入に焦点を充ててディスカッションがなされました。骨盤底筋に着目する介入は参加者にとっては経験が少なく、理学療法介入の視点が広がるよいディスカッションができていました。

ディスカッションは、経験年数の近い方々でグループを組んでいたため、忌憚のない意見交換ができていたと思われます。今後も県内理学療法士のリハビリテーションの質の向上をサポートできるような場を設けていければと思っています。

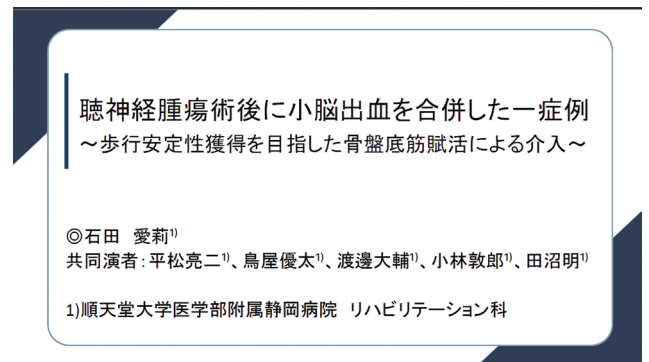
【参加者】

理学療法士会員:30名(症例検討①)、32名(症例検討②)

【症例検討】



症例検討① 岡野 圭祐 先生
(聖隷浜松病院)



症例検討② 石田 愛莉 先生
(順天堂大学医学部付属静岡病院)



静岡県理学療法士連盟 NEWS

Vol.8
2025.1.1

令和6年11月29日 自民党県連 厚生問題対策連絡協議会に参加。
認定スクールトレーナーにて理学療法士の活用、災害時におけるリハビリテーション、リハビリ専門職の賃金上昇などの処遇改善について等々
リハビリ専門職の活用を重点に置き静岡県政へ要望をしてきました。



令和6年12月17日 厚生問題対策連絡協議会での重点要望について
関係する静岡県議会議員と担当課との協議を県庁にて行いました。認定スクール
トレーナーの活用、災害時のリハビリについて協議し、現状の課題等を抽出し令
和7年3月に再度協議する予定となりました。



令和6年12月20日 田中まさし政策懇話会に参加。
理学療法士『田中まさし』参議院議員の応援を引き続きお願いいたします。



静岡県理学療法士連盟 **新規入会及び会員継続登録**のお願い

年会費 ¥1000とし、当会の運営を行うこととなりました
右記のQRコードもしくはURLから申込みフォームへの登録をお願いします。
・既会員：会員継続の意志確認、会員情報の再登録
・新規会員：新規入会登録



<https://forms.gle/CCF4vXYvHGDmEcrJ7>



富士リハで
理学療法士
作業療法士 を
目指そう!

学校法人森島学園 厚生労働大臣指定 文部科学省職業実践専門課程認定校 理学療法学科 作業療法学科 ↓詳しくはこちら

専門学校 **富士リハビリテーション大学校**



〒417-0061 静岡県富士市伝法 2527-1 TEL.0545-55-3888 FAX.0545-55-3889 URL.https://www.morishima.ac.jp/fuji/

理学療法学科 トータルケア鍼灸学科 スポーツ柔整・柔整健康学科 歯科衛生学科



オープンキャンパス毎月開催中! 詳しくはホームページをご参照ください

参加申込↓

専門学校 **中央医療健康大学校**



静岡市駿河区曲金 6丁目 7-15 ☎ 054-202-8700 ✉ cmhc@suzuki.ac.jp 学校法人 鈴木学園 鈴木学園 検索

鈴木学園グループ: 中央歯科衛生士調理製菓専門学校・中央調理製菓専門学校静岡校・専門学校中央メカニク自動車大学校・中央動物総合専門学校

未来へまっすぐ

一人ひとりの身体の悩みに寄り添い、支えるスペシャリストに

理学療法学科 柔道整復学科

- ・ワンルームタイプの学生寮（男女）
- ・学生食堂：日替わり定食・季節メニュー
- ・沼津駅・伊東駅・韮山駅からの送迎バス
- ・早期にスタート！本気の国家試験対策
- ・レッドコード、治療台などの設備が充実

学校法人 原学園



静岡東都医療専門学校

SHIZUOKA TOHTO MEDICAL COLLEGE

〒410-2221 静岡県伊豆の国市南江間 1949 番地
TEL 055-947-5311 FAX 055-947-5313



理学療法士募集

募集人員 常勤 2名程度


平成26年開業の静岡市清水区の整形外科・リハビリテーションのクリニックです。広いリハビリ室で運動器リハビリテーションを主体とし「安心」「笑顔」「和やか」をモットーに治療にあたっています。明るく元氣な方を募集しております。

施設名	たむら整形外科	週1日勤務など、パートでも相談に応じます
施設概要	整形外科・リハビリテーション科	
待遇	基本給260,000円～320,000円(経験考慮) 残業手当別(月平均4万円) パート 時間給2,000円～ 資格手当、通勤手当、その他必要な手当、 賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備、退職金制度あり	交通 バス・南矢部 三保草薙線 徒歩2分 向田町 蜂ヶ谷・梅ヶ谷市立病院線 徒歩7分 中矢部 蜂ヶ谷・梅ヶ谷市立病院線 徒歩10分
休日	週休2.5日(水・日)・土曜日午後・祝日、年次有給、夏季休暇、年末年始休暇	
勤務時間	8:00～12:30、14:30～18:15(平日) / 8:00～12:30(土曜) 残業手当あり	
応募方法	電話又は履歴書を郵送して下さい。	
連絡先	〒424-0855 静岡市清水区庄福町9-15 Tel 054-353-0777 Fax 054-351-5550 担当:田村 晋	

理学療法士募集

募集人員 常勤2名

2023年12月1日に新規オープンした整形外科クリニックです。解剖学に基づく運動器エコーを駆使した診療×運動器リハビリテーションを治療の柱としています。ぜひ一緒に学び成長し患者さんの痛みを取り除きましょう！

施設名	ゆきえ整形外科クリニック	交通 静鉄バス美和大谷線もしくは安倍線で「籠上中」下車 徒歩3分
施設概要	整形外科、リハビリテーション科	
待遇	月給225,000円～322,000円(経験に応ず) 資格手当、 業務手当、通勤手当あり、賞与あり、昇給あり、制服貸与、健康保険(協会けんぽ)等各種保険完備	
休日	水・土・日・祝日、年末年始休暇、夏季休暇	
勤務時間	月・火・木・金 8:45～18:45 休憩120分 水・土 8:45～12:45	
応募方法	電話またはメールにてご連絡ください。	
連絡先	〒420-0873 静岡市葵区籠上12-40 ゆきえ整形外科クリニック Tel: 054-251-1199 担当: 靱負(ゆきえ) E-mail: yukieseikei@gmail.com	

理学療法士募集

募集人員 常勤1名 非常勤1名


理学療法に重きを置く整形外科診療所です。様々な運動器関連の疾患に対応できる人材と設備を備え、マンツーマンでの心の通う治療を目指しております。通所リハビリ、訪問リハビリも行っております。

施設名	医療法人社団浜本整形外科医院	現在、常勤理学療法士9名(非常勤1名)、柔道整復師3名、 整形外科医2名、放射線技師1名、看護師3名、受付事務3.5名、
施設概要	整形外科、リハビリテーション科、通所リハビリ、訪問リハビリ	交通 静鉄バス北安東5丁目徒歩3分
待遇	基本給+職務給 20万円～ 住宅手当1万円、通勤手当2万円まで 皆勤手当1万円、残業手当平均3万円、研修手当 年収350万円～500万円 賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備、育児休暇、退職金制度あり 非常勤の場合は時給1600円～ 勤務時間は応相談	
休日	木曜午後、土曜午後、日祝日、夏季休暇、年末年始、	
勤務時間	午前8:30～12:30、午後3:00～6:30 休憩1時間半 8時間越え(半日4時間越え)は残業 月平均15時間	
応募方法	まず電話していただき、履歴書を郵送してください。見学はいつでも結構です。	
連絡先	〒420-0805 静岡市葵区城北40-5 人事 浜本 054-248-1705 E-mail: yhama7552@mti.biglobe.ne.jp	

理学療法士募集

募集人員 常勤2名

2025年2月に新しくオープンするクリニックです。外科的アプローチと内科的アプローチで運動療法、食事療法、薬物療法を行い、多職種連携で患者様の健康をサポートします。

施設名	清水サルバス整形外科・糖尿病内分泌クリニック	交通 静鉄静岡清水線 桜橋駅より車4分
施設概要	無床 理学療法 物理療法	
待遇	基本給26万円～、通勤手当、資格手当、職務手当 賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備、退職金制度あり	
勤務時間	8:30～18:00	
休日	週休2日制、年次有給、夏季休暇	
応募方法	履歴書を郵送してください	
連絡先	〒422-8004 静岡市駿河区国吉田4-5-27-201 Tel 054-265-1515 Fax 054-265-1551 採用担当 松永 E-mail saiyo-junbi@kind.ocn.ne.jp	

施設名	浜松医療センター	
施設概要	606床	
待遇	基本給 206,400円～※経験年数による加算あり※諸手当あり(通勤手当、住宅手当、扶養手当その他) 賞与あり(令和5年度実績 月4.4ヶ月分)、昇給年1回、退職金制度あり	
休日	4週8休制(完全週休2日制に相当)、年末年始休暇、年次有給休暇(平年次20日)、 夏季厚生休暇(8日)、特別休暇(産前産後、結婚、看護・介護休暇その他)、育児・介護休業制度	
勤務時間	8:15～17:00	
応募方法	「採用試験志願書・自己紹介書」を郵送してください。 詳しくは当院ホームページをご覧ください。 https://www.hmedc.or.jp	
連絡先	〒432-8580 浜松市中央区富塚町328番地 公益財団法人浜松市医療公社 人事課 人事係 Tel: (053)451-2703 E-Mail: jinji@hmedc.or.jp	



求人広告に関するお問い合わせ

Eメールにてお問い合わせください

静岡県理学療法士会広報局 渡邊勉(わたなべ つとむ)
E-mail: tsutomu@shizuoka-pt.com
一般財団法人富士脳障害研究所附属病院

※ゆまにて209号の掲載原稿の
締め切りは2025年2月28日です。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

